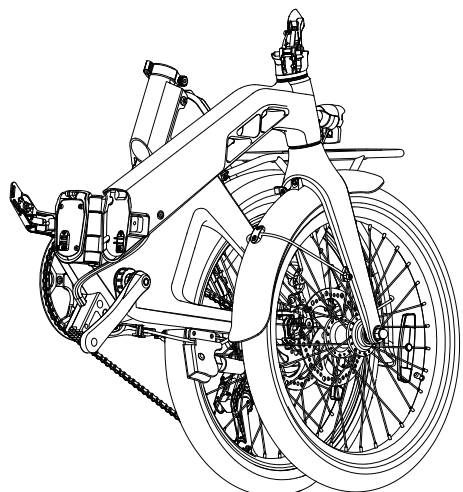
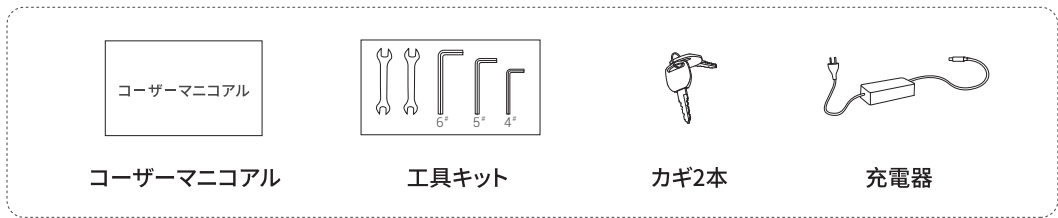


# 電動自転車ユーザーマニュアル

適用モデル: LIGHT-P4

温かいご注意：  
ライド前に、すべての製品説明をよくお読みください。読ん老後は、大切に保管読んだ後は、大切に保管してください。電動自転車 の特性を理解するまで、使用しないでください。

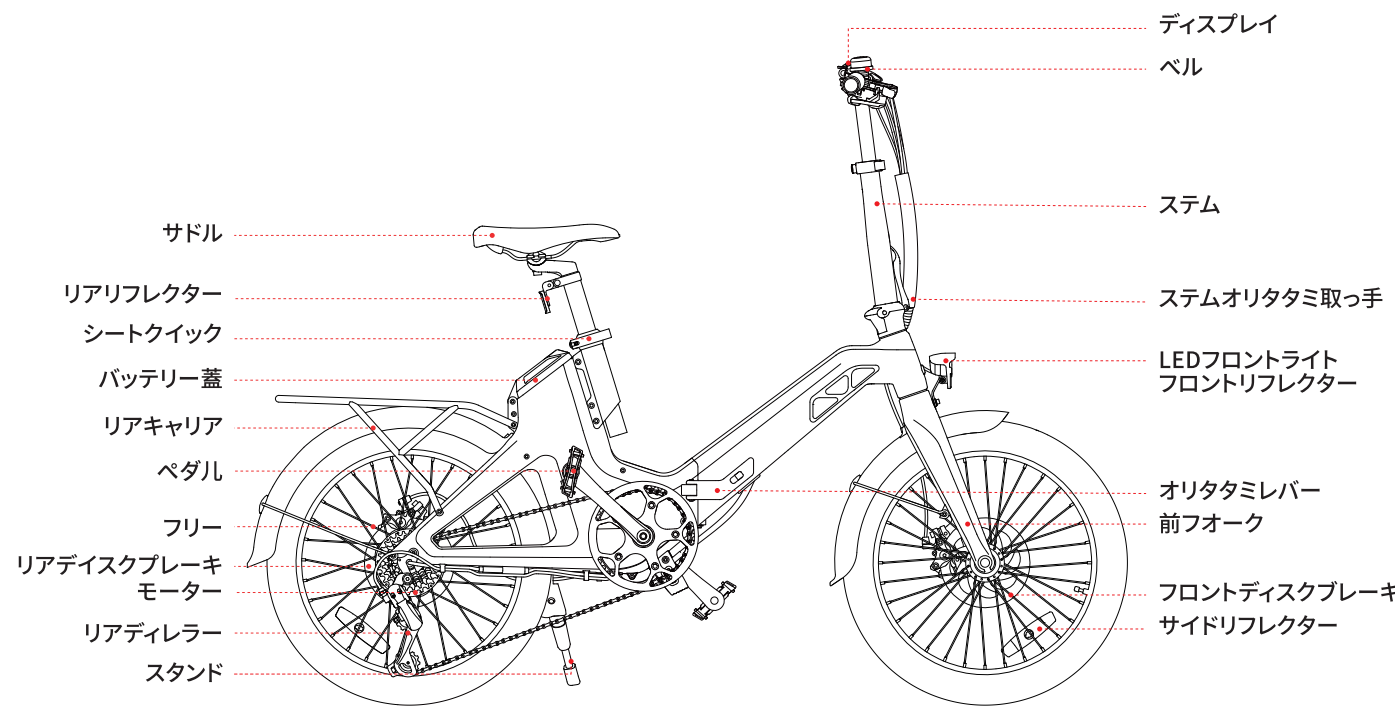
## 付属品



LIGHT-P4 オリタタミ自転車

\*梱包箱内の物品がすべて揃っているか、紛失や破損がないかをよく確認してください。

## 部品説明

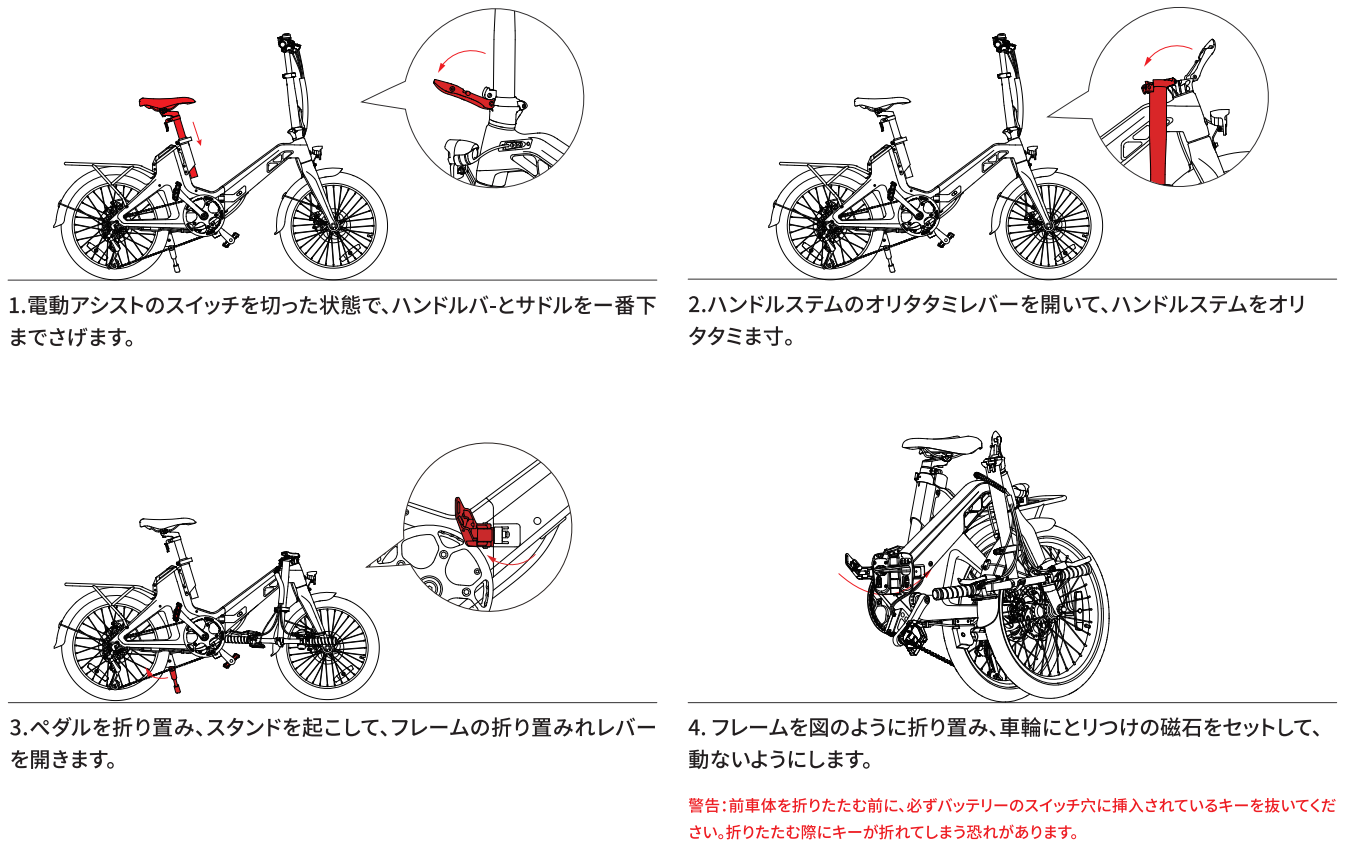


## 基本パラメータ

セクションの種類	製品番号	LIGHT-P4
商品情報	製品サイズ	1580*570*1020-1140mm (ステム伸縮) / 折量:830*500*680mm
	車両重量	23 kg
	最大積載量	90 kg
スペック	駆動方式	トルクセンサー
	ブレーキ (前/後)	160MM 前後ディスクブレーキ
	タイヤ	20*1.95 Inch
	アシスト	24km/hまでアシスト
	1充電当走行距離	最大約70km
	バッテリー容量	36V 7.8Ah
	モーター	250W
	ディスプレイ	LCD
	照明装置	フロントライト
充電器	充電電流	42V 2A
	充電時間	3-5h

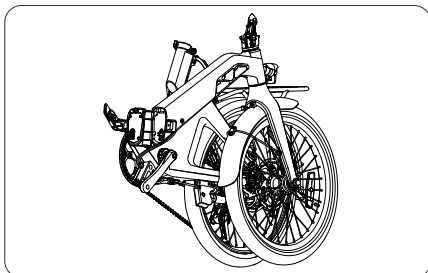
ご自身のニーズに応じて、適切なバージョンをお選びいただけます。また、P4では、今後さまざまなオプションのアップグレードアクセサリやカラースタイルキットが発売される予定です。具体的な詳細については、購入先のディーラーにご相談ください。

## 折り方

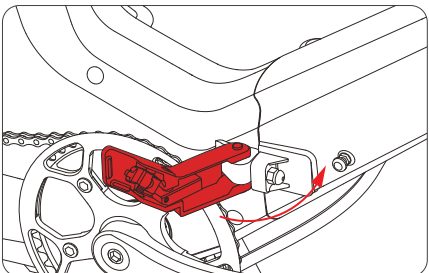


警告:前車体を折りたたむ前に、必ずバッテリーのスイッチ穴に挿入されているキーを抜いてください。折りたたむ際にキーが折れてしまう恐れがあります。

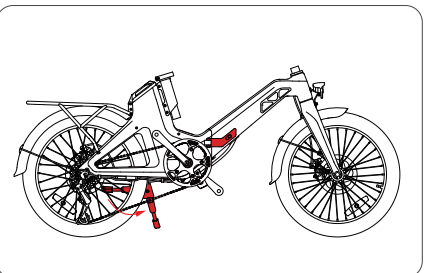
## 組立方法



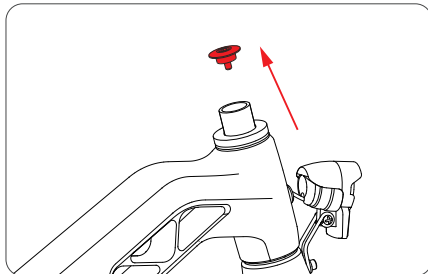
1.オリタタミ状態の自転車を箱から取り出して、梱包材を取り外してください。



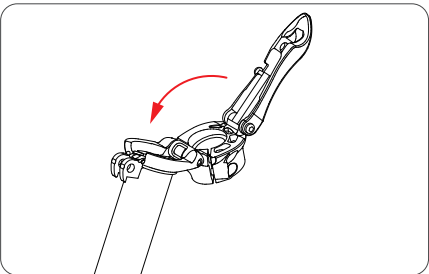
2.フレームを組み立てて、フレームオリタタミレバーを車体の方向をたたんで締めてください。



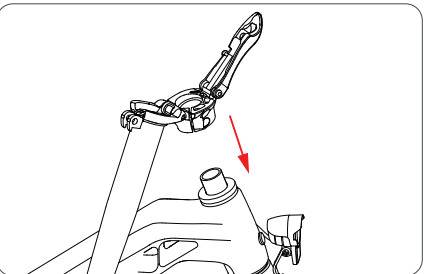
3.スタンドをたててください。



4.ハンドルを組み立てる前に、4mm六角レンチでフォークコラムのベッドキャップを取り外します。取り外したベッドキャップを無くさないようにしてください。

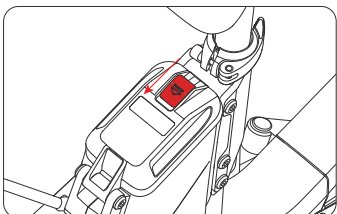


5.ハンドルステムのオリタタミレバーを開いて、ハンドルステムをオリタタミます。

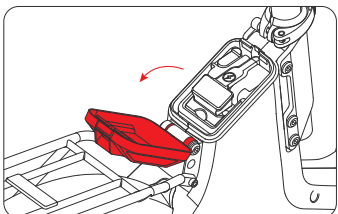


6.折り畳んだ状態のハンドルステムをフォークに取り付けます。取り付け時にハンドルステムの方向に気をつけてください。

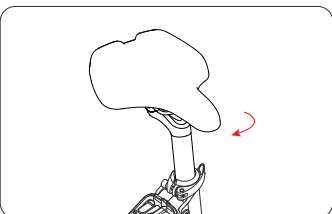
## バッテリーの取り外し方法



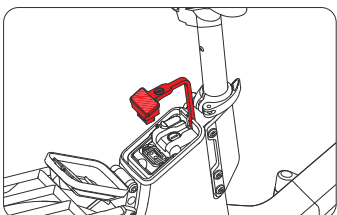
1.図の赤部の矢印の方向に引っ張り上げます。



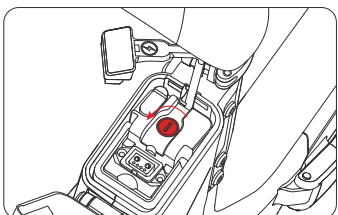
2.バッテリーカバーを開きます。



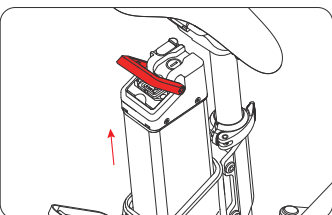
3.サドルの位置を調整します。左右90度くらい



4.電源を切って、バッテリープラグを取り外します。



5.バッテリーロックのカギを開けます。

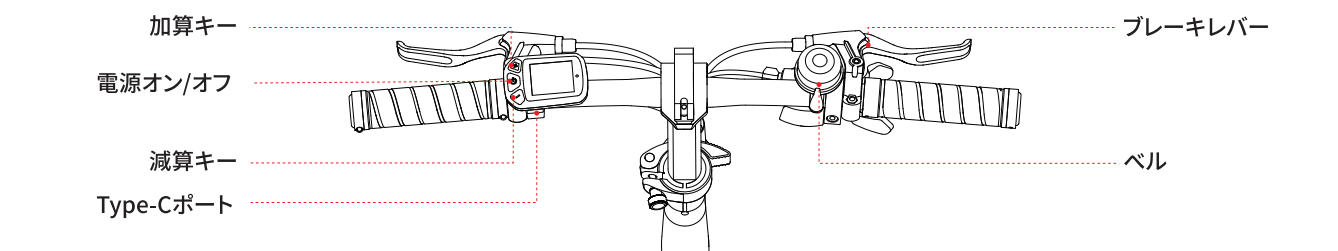


6.バッテリーを取り外します。

## バッテリーの使用について

輸送や保管の過程で、バッテリーの自己放電などの原因により、初めて使用する際に電量が低かったり、電気がなかったりすることがあります。これは正常な現象です。以下の充電手順に従って充電してください。外置充電と全体充電の2つのモードから選択することができますが、未成年者が充電装置を操作しないようにしてください。

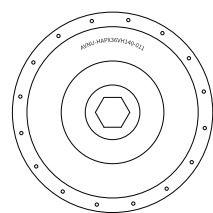
## ヘッド組み合わせスイッチ



	短く押す	長く押す(電源オン後)	同時に押す
	ODO総距離表示への切り替え	電源のオン/オフ	/
	パワーアシストレベルを上げる	ライトのオン/オフ	スリープ設定:ホイール径設定 最高速度設定:バックライト設定 表示単位設定:距離のリセット
	パワーアシストレベルを下げる	ブースターモードのオン/オフ	

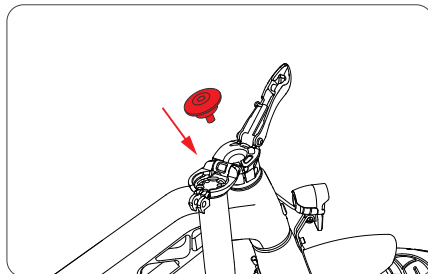
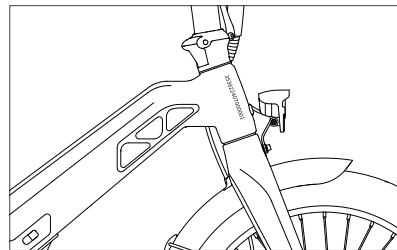
## モーターコード

モーターの端部に刻印されています(図参照)。

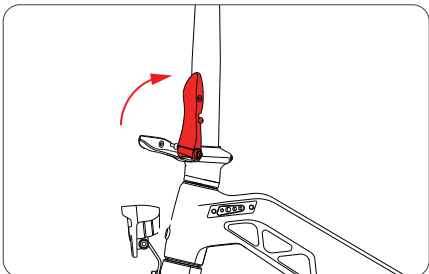


## フレーム番号

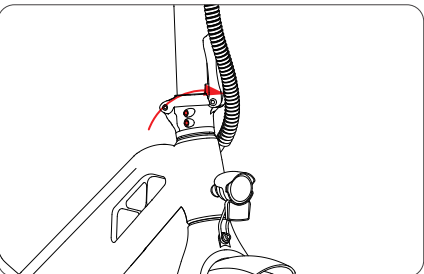
図の位置に表示されています。



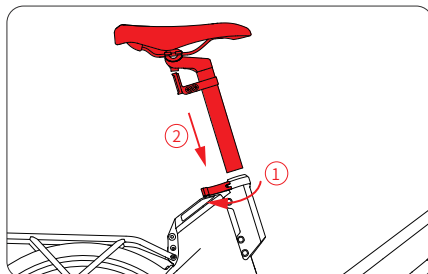
7.先ほど取り外したベッドキャップを上記のように取り付けて、4mmレンチで締めつけます。



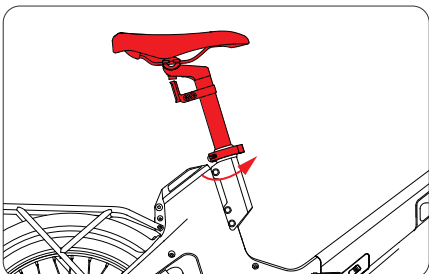
8.ハンドルステムを組立て、ハンドルステムのオリタタミレバーを締め付けます。



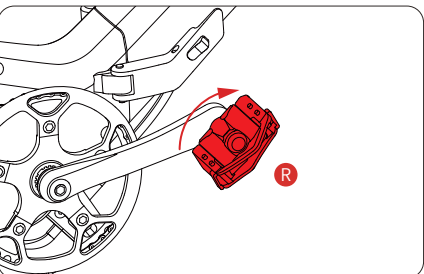
9.ハンドルを正しい位置に固定してあと、5mm六角レンチにて、動かないように締め付けます。



10.サドルセットまず①のシートレバーを緩めて、サドルをセット②。



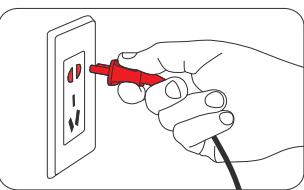
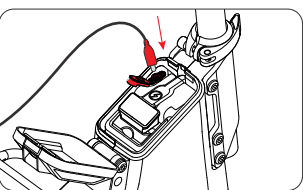
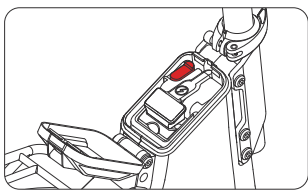
11.サドルが位置をきめて、シートレバーを締める。サドルが動かないか確認。



12.ペダルの取り付けまずペダルの左右の表示シールを確認して、右のペダルを右に時計回りに回して取り付け、左のペダルは左に、反時計回りに回して、取り付けます。緩みがないようにしっかり取り付けること。

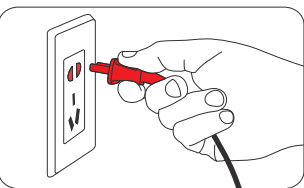
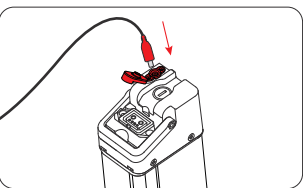
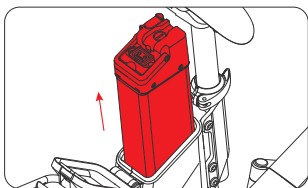
## ① 車両全体の充電

バッテリーカバーを外し、充電口(下記参照)のキャップを外し、まず充電器の充電ソケットを差し込みます。それから電源をコンセントに繋ぎます。充電が終わったら、充電ソケットを外し、キャップを付けます。



## ② 外部充電

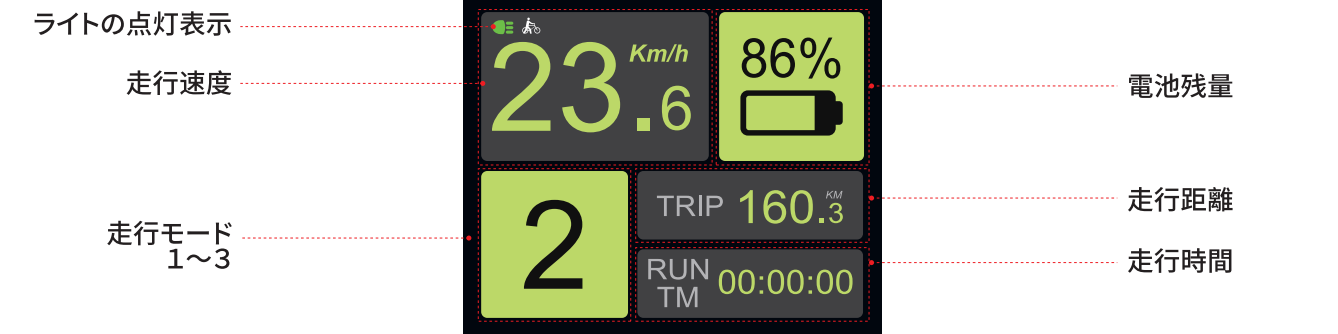
バッテリーを取り外します。バッテリーの充電口のキャップを外して、充電器の充電プラグを差し込みます。それから、電源をコンセントに差し込みます。充電が終わったら、充電プラグを引き抜き、充電口のキャップを取り付けます。



\*充電器の赤色点灯は充電中の表示で、充電が完了したら緑色の点灯になります。充電が完了したら、電源をただちに外してください。

車体の温度が40度を越えるときには、正常に充電ができないことがあります。その場合は、40度以下になるのを待ってから充電してください。

## ディスプレイ



## エラーコード意味一覧表

エラーコード	故障状態	故障コード(10進数)	故障状態
101	ブレーキレバー接続エラー	34	モーター停止
102	スロットルレバー接続エラー	35	モーター接続エラー
103	スロットルレバーアース線エラー	36	モーターホールセンサー接続エラー
105	速度センサーエラー	52	コントロールユニット内部エラー
24	コントロールユニット過電流		
25	コントロールユニット電圧不足		
26	コントロールユニット過電圧		